



# ADRC Highlights Vol.131

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

January 1 & 16, 2006



謹賀新年



明けましておめでとうございます。  
 昨年もパキスタン地震を始め多くの災害がアジアで発生しました。災害によって苦しんでいる人々の姿を見ると、胸が痛みます。災害による被害は人智によってある程度軽減できるはずですが、それなのに続く大規模災害・・・ここ兵庫県では11年前に阪神・淡路大震災を経験しているだけに他人事とは思えない気持ちが湧いてきます。  
 新年を迎え、アジア防災センター職員一同、安全で笑顔あふれるアジアを目指して微力ながら気持ちを新たに国際防災協力の推進に努めて参ります。  
 皆様のご指導・ご鞭撻を今年もよろしくお願い申し上げます。

所長 北本政行

### ➤ 国際防災復興協力セミナー 公開シンポジウム を開催します

国際防災復興協力機構(IRP)事務局、アジア防災センター(ADRC)は、国連開発計画(UNDP)、国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、国連人道問題調整事務所(UN/OCHA)神戸、内閣府、兵庫県との共催により、「国際防災復興協力シンポジウム」を2006年1月19日(木)の14:00~17:15、神戸国際会議場国際会議室(神戸市中央区)にて開催します。

国際防災復興協力機構(IRP)事務局は、昨年1月に兵庫県神戸市で開催された国連防災世界会議の成果文書「兵庫行動枠組」の具体的な第一歩として、同年5月兵庫県神戸市に開設されました。

IRPでは発足後、タイ・インドネシアの津波被災地や、パキスタンの地震被災地に行き、復興に関するアドバイスをを行うなど積極的な活動を展開しています。

当シンポジウムでは、このようなIRPの活動内容を紹介するとともに、昨今の大規模災害の被災地から専門家を招聘し、復興過程から得られた教訓、解決すべき

・・・プログラム内容(予定)・・・

#### 挨拶等

- 井戸 敏三(兵庫県知事)
- キャサリン・クラベロ(UNDP 副総裁)〈代読〉
- 武田 文男(内閣府大臣官房審議官(防災担当))
- 神余 隆博(外務省国際社会協力部長)

#### 基調講演

イアン・デイビス (英国クランフィールド大学教授)

#### パネルディスカッション:

- サイド・アーメド(パキスタン内務省)
- スポン・ラタナナキン(タイ内務省)
- 村田 昌彦(IRP 事務局/ADRC)
- フアード・ベンディメラッド(神戸大学/EMI)
- ブジ・ブジオノ(UN/OCHA 神戸)

#### コメンテーター:

- サルパノ・ブリセーニョ(UN/ISDR 事務局長)
- イアン・デイビス (英国クランフィールド大学教授)

#### コーディネーター:

アニル・シンハ(IRP 事務局) (予定)

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)

Hitomiraikan 5F, 1-5-2 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe  
 651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone:+81-78-262-5540



# ADRC Highlights Vol.131

## Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

January 1 & 16, 2006

問題点などを抽出し、被災地のよりよい復興に向けた議論を深めることを目的として開催します。

参加費は無料で、どなたでも参加できるこのシンポジウムでは、現在、参加希望者を募集しております。希望される方は、2006年1月16日までに、氏名・職業・住所・電話/FAX番号をお書きの上、「国際防災復興協力機構 (IRP) 事務局」宛にメール (irp@recoveryplatform.org) もしくは FAX (078-262-6046) にてお申し込みください。  
<http://recoveryplatform.org/>でも詳細を掲載しております。みなさまのご参加をお待ちしています。

### ➤ 防災科学技術リスト構築についての地域会議が開催される

文部科学省、防災科学技術研究所、国連防災戦略事務局(UN/ISDR)は、2005年1月に兵庫県神戸市で開催された国連防災世界会議の成果文書「兵庫行動枠組」のフォローアップ活動の一環として、防災に関する科学技術を収集しデータベース化して公表するための枠組づくりについて検討するプロジェクトを実施しています(プロジェクトリーダー: 亀田弘行防災科学技術研究所客員研究員)。

これを受けて、アジア太平洋を対象にした標記地域会議が2005年11月14-15日、ネパールのカトマンズで開催されました。今回の会議では、地元ネパールの NGO である NSET(National Society for Earthquake Technology)の協力のもと開催され、アジア太平洋地域で活躍する国連機関や NGO のスタッフ、研究者、行政官などが参加しました。期間中は、各地域で行われている防災に関する具体的な取り組みの紹介、情報収集・データベース構築に当たった課題(収集範囲、掲載基準、収集方法など)や各機関の考える貢献についての検討などが行われました。

アジア防災センター(ADRC)からは、所長の北本が参加し、当センターが作成している優良事例集を紹介するとともに、メンバー国とのネットワーク、NGO アジア防災・災害救援ネットワーク(ADRRN)を活用した貢献が可能である旨を発言しました。

なお、この件に関するお問い合わせは、北本 ([kitamoto@adrc.or.jp](mailto:kitamoto@adrc.or.jp)) までお願いします。

### ➤ 1755年リスボン地震250周年記念国際会議が開催、ADRCが参加、論文発表

2005年11月1日～4日まで1755年リスボン地震250周年記念国際会議がポルトガルのリスボンで開催されました。本年が1755年の大地震から250周年目にあたることを契機として、世界各国から科学者、技術者、歴史家、哲学者、都市計画者、建築家、経済学者、政策立案者などが一同に会し、自然災害への広い認識と、如

何に社会がそれに取り組むかの総合的な展望を醸成するものでした。各セッションでは、最新の研究成果に対して活発な議論が行われました。

当センターからは主任研究員の栗田が同会議に参加し、「地震や津波の危険に曝されるコミュニティへの社会・経済的インパクト」のセッションにおいて「スリランカにおける津波リスクに関する意識調査」という題名で論文発表を行いました。これは、栗田らが同国において実施した津波に関するアンケート調査(標本数 2,500)で、被災地の現状とコミュニティの自然災害への対応能力を評価し、津波災害に関する住民の意識高揚および知識の普及の方策を提案したものです。本研究では、スリランカの被災地における津波リスクに関する住民の意識が定量的に得られました。更に、学校や防災関係の政府機関における問題点も明らかになりました。

なお、この件に関するお問い合わせは、主任研究員の栗田 ([kurita@adrc.or.jp](mailto:kurita@adrc.or.jp)) までお願いします。

### ➤ ADRC スタッフ紹介(No.23) □ 中野 元 主任研究員

2005年10月に大阪ガス株式会社から当センターの主任研究員として出向してまいりました中野です。大阪ガス株式会社では、主にエネルギー利用、環境関係を中心として仕事をまいりました。アジアとの関係では、特にシンガポール、PowerGas 向け都市ガス新工場建設のオーナーズコンサル関係の仕事を通じて、インフラ整備の重要性とエネルギーが国家安全保障に直接関わる事を実感いたしました。また、同様にシンガポールでの天然ガス導入のコンサル業務を通じて、緊急時用予備設備の保有の重要性を実感しています。大阪ガスは、1995年の阪神・淡路大震災の時に、約86万戸の顧客への都市ガス供給を停止せざるを得ない状況になり、会社としては未曾有の危機に遭遇しました。しかし、色々な困難な作業状況と戦いながら、早期に都市ガスを安全に復旧することができ、この貴重な経験を糧に、なお一層防災対策には力をいれて取り組んでいます。



当センターにおける業務は、防災研修・セミナーやアジア防災会議など国際会議関係を中心としたものとなっております。自然災害から得られた各国での貴重な経験を蓄積して、出来るだけ多くの国に生きた情報として伝達することは、次の災害に備える上で非常に重要であると思います。これからの当センターの活動の一端を担って、アジア地域の自然災害の軽減にお役に立ちたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by: Asian Disaster Reduction Center (ADRC)

Hitomiraikan 5F, 1-5-2 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe  
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-262-5540